

<ポイント> 数には3種類ある

○正の数とは・・・0を基準としたときに、0より大きな数のこと。正の数には、正の符号である「+」（プラス）をつける。また、正の整数のことを「自然数」という。

○負の数とは・・・0を基準と0を基準としたときに、0より小さな数のこと。負の数には、負の符号である「-」（マイナス）をつける。

○正の数でも負の数でもない数・・・0のこと。0には+や-はつかない。

※小学生のときに習ったのは、正の数と0である。

【1】 次の数を、+、-の符号を使って表しなさい。

(1) 0より5大きい数 ()

(2) 0より3小さい数 ()

(3) 0より4.7大きい数 ()

(4) 0より $\frac{3}{7}$ 小さい数 ()

【2】 次のカッコにあてはまる数や言葉を答えなさい。

(1) 0より () 大きい数のことを、+4という。

(2) 0より () 小さい数のことを、-7という。

(3) +3.4 は、0より () だけ () 数である。

(4) -2.9 は、0より () だけ () 数である。